

# 根本沢シオジ遺伝資源希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 群馬森林管理署
所在地	群馬県桐生市
面積	21.28ha
設定年	昭和63年(設定)、平成30年(名称変更)
保護林の概要 (設定目的)	根本沢西側に源を発する桐生川の最上流地帯の峡谷に成立しているシオジ林であり、胸高直径で100cmを越える老齢木を含み、学術上及び遺伝資源の確保上貴重である。このため、土地的極相林として成立しているシオジが群生する群落の希少な個体群を保護するため設定する。



保護林内の状況



シオジに対するニホンジカ剥皮

## モニタリング調査概要

実施年度	平成22年、平成27年、令和2年、令和7年
調査項目	資料調査、森林概況調査、森林詳細調査(樹木の生育状況調査、下層植生の生育状況調査等)、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査として、シオジ群落、イヌシデ群落(シオジの実生状況調査)において調査プロットを計3箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握した。
結果概要	ニホンジカによる剥皮や角研ぎ痕が確認されたが、被害本数は少なく、現段階でシオジに与える影響は軽微であると考えられる。また、下層植生の減少もみられたが、シオジの実生は多数確認されている。なお、稚樹を確認できたのは少数であったが、林内照度等も関係していることが考えられるため、引き続き、生育状況を確認する必要がある。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。